



中部電力

# 2025年度第3四半期 決算説明資料

2026年2月2日

<b>I 2025年度第3四半期 決算概要</b>	<b>&lt;スライド番号&gt;</b>
決算概要	..... 1
セグメント別決算概要	..... 4
発電電力量	..... 8
(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)	..... 9
2025年度 業績見通しの概要	..... 10
<b>II 参考データ：決算・財務関連</b>	<b>&lt;スライド番号&gt;</b>
連結収支比較表	..... 12
連結財政状態の概要	..... 13
2025年度 セグメント別業績見通し	..... 14
財務関連指標	..... 15

# I 2025年度第3四半期 決算概要

---

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。  
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

## 〈決算概要〉(連結)

- 売上高：2兆5,663億円  
燃料費調整額等※の減少（△740億円）などから、前年同期に比べ 852億円の減収  
※政府の電気料金支援を含む
  - 経常損益：2,407億円  
浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における不適切事案を受け、審査に関係する業務などの委託契約を解約することとし、実施済みの業務に対応した費用を計上（△117億円）したものの、期ずれ差益が拡大（60億円）したことや、J E R Aにおいて燃料調達影響（国内火力事業）などにより利益が増加（426億円）したことなどから、前年同期に比べ 184億円の増益
  - 親会社株主に帰属する四半期純損益：2,025億円  
経常損益の増加などから、前年同期に比べ 354億円の増益
- ・ 売上高は、2023/3Q以降、3年連続の減収    ・ 経常損益は、2023/3Q以来、2年ぶりの増益  
 ・ 2023/3Q以来、2年ぶりの減収増益
- (億円, %)

	2025/3Q (A)	2024/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	25,663	26,516	△852	△3.2
営業損益	1,685	1,841	△155	△8.4
経常損益	2,407 (2,267程度)	2,222 (2,142程度)	184 (124程度)	8.3 (5.8)
親会社株主に帰属する四半期純損益	2,025	1,671	354	21.2

(注) ① 連結対象会社数 2025/3Q 連結子会社 76社【+7社】 持分法適用会社 103社【+18社】 [[ ]内は前年同期差]  
 ② ( ) 内は期ずれ除き経常損益  
 ③ 期ずれ除き経常損益は前期まで10億円単位で表示しておりましたが、当期より前期値も含め1億円単位での表示へと見直しております。

## 〈連結売上高の変動要因〉(852億円の減収)

(単位：億円)

27,000

燃料費調整額等※の減少

△740

26,000

2024年度第2四半期  
株式会社トーエネック  
関連会社化影響 など

その他

△112

25,000

26,516

24,000

25,663

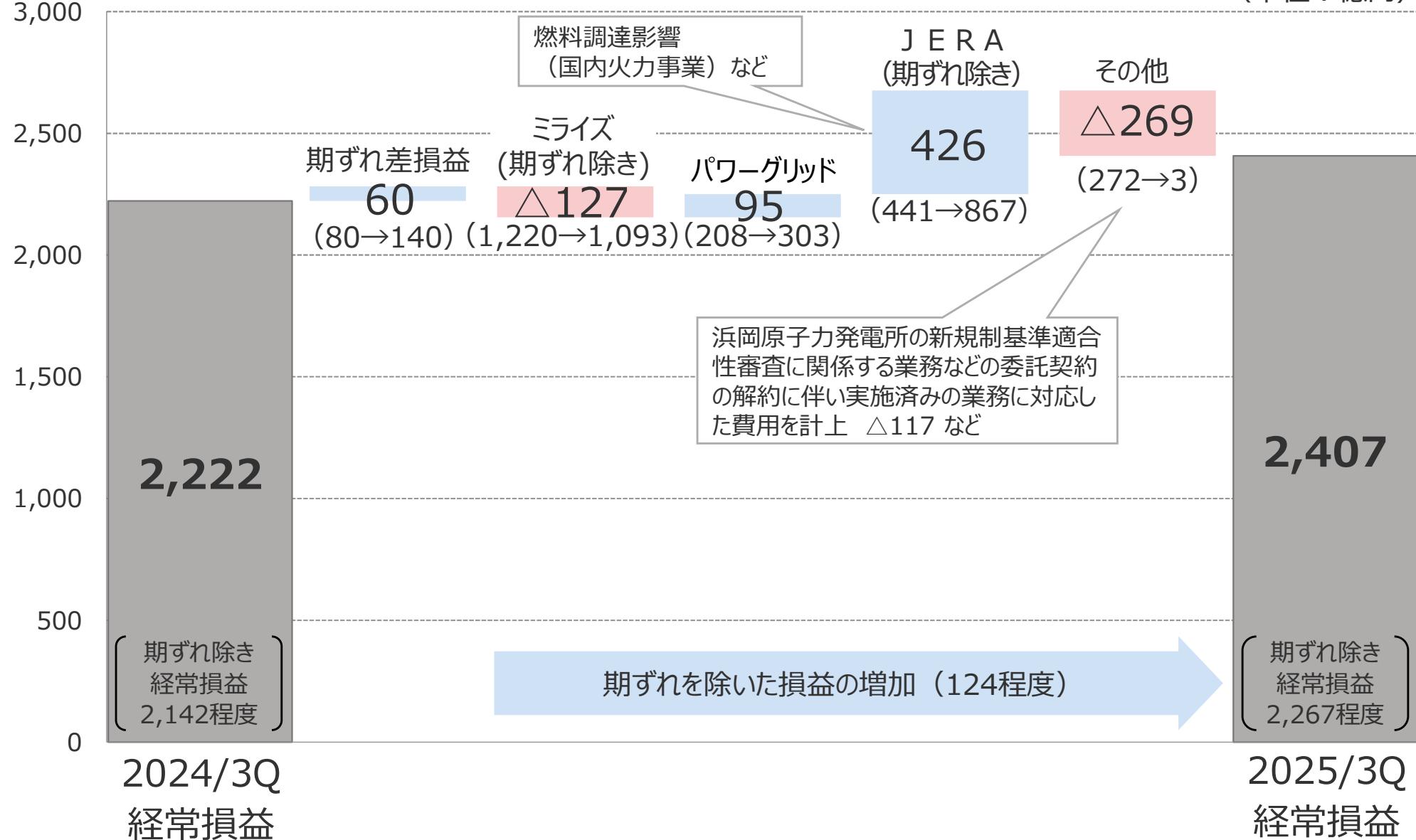
2024/3Q  
売上高

2025/3Q  
売上高

※燃料費調整額に政府の電気料金支援を加えております。

## 〈連結経常損益の変動要因〉(184億円の増益)

(単位: 億円)



# セグメント別決算概要①



(億円, %)

		2025/3Q (A)	2024/3Q (B)	増減	
				(A-B)	(A-B)/B
売上高	マイズ	21,153	21,426	△272	△1.3
	パワーグリッド	6,751	6,841	△89	△1.3
	その他（※1）	4,947	5,534	△586	△10.6
	調整額	△7,189	△7,285	96	△1.3
	合計	25,663	26,516	△852	△3.2
経常損益	マイズ	1,113	1,140	△27	△2.4
	パワーグリッド	303	208	95	45.8
	J E R A（※2）	987	601	386	64.2
	その他（※1）	1,139	626	512	81.8
	(再掲)不動産事業（※3）	111			
	調整額	△1,135	△354	△781	220.8
	合計	2,407	2,222	184	8.3

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、不動産事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

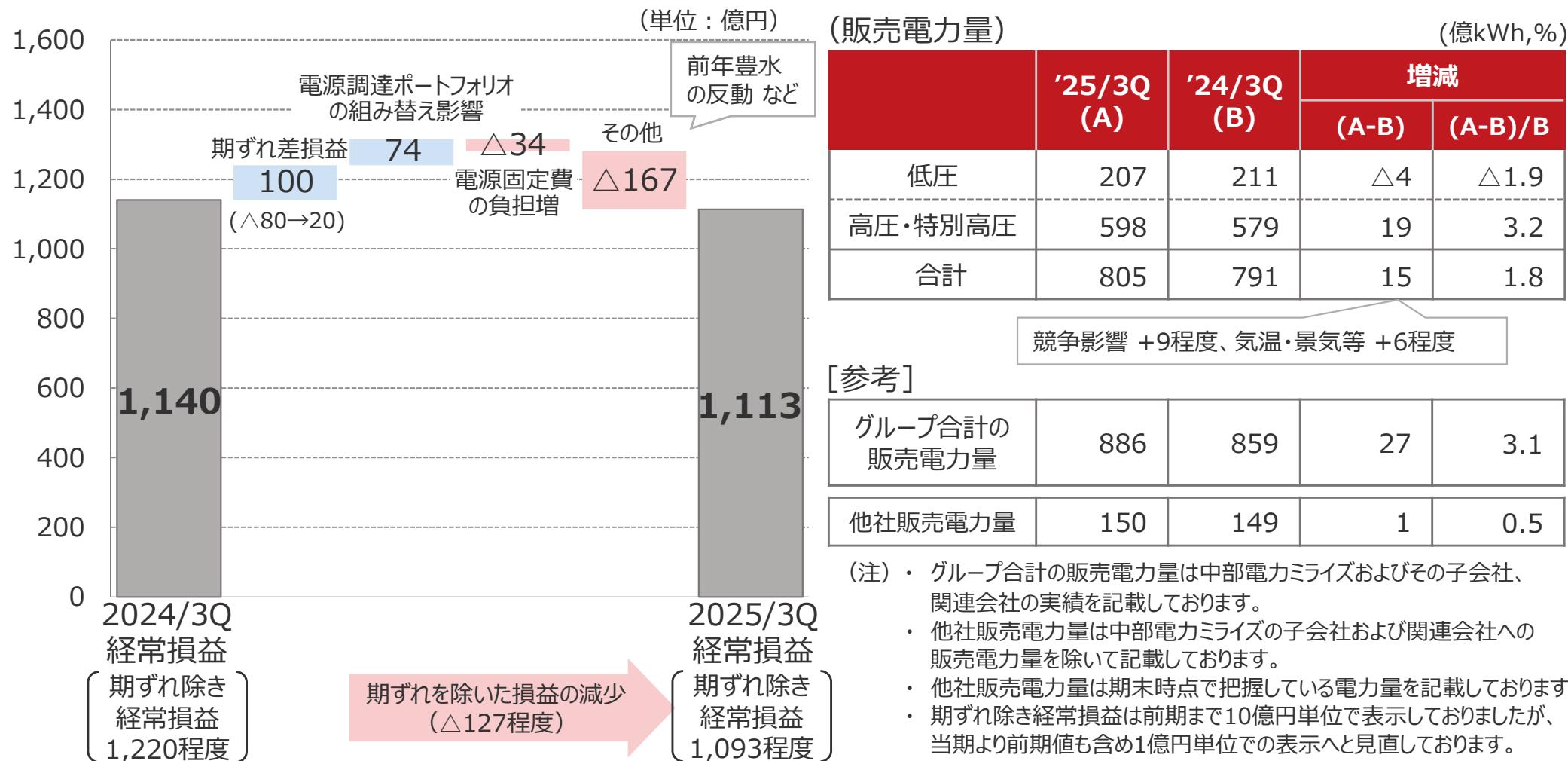
※3 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

# セグメント別決算概要②：ミライズ



## 〈経常損益の変動要因〉

- 電源調達ポートフォリオの組み替えによる費用削減効果等の拡大はあったものの、電源固定費の負担増や前年豊水の反動などから、前年同期に比べ 27億円の減益  
(参考) 期ずれを除いた経常損益：1,093億円程度 (前年同期に比べ 127億円程度の減益)

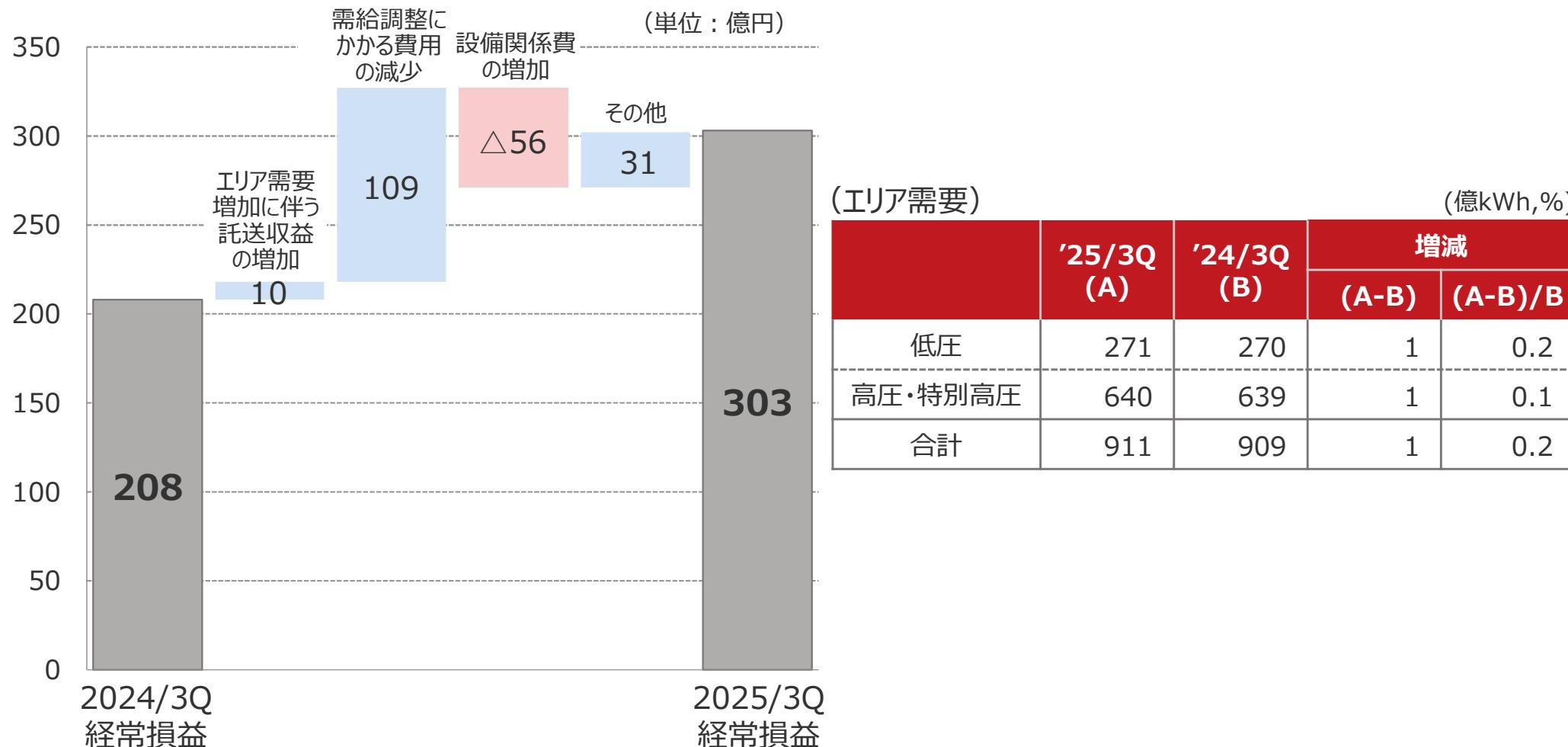


# セグメント別決算概要③：パワーグリッド



## 〈経常損益の変動要因〉

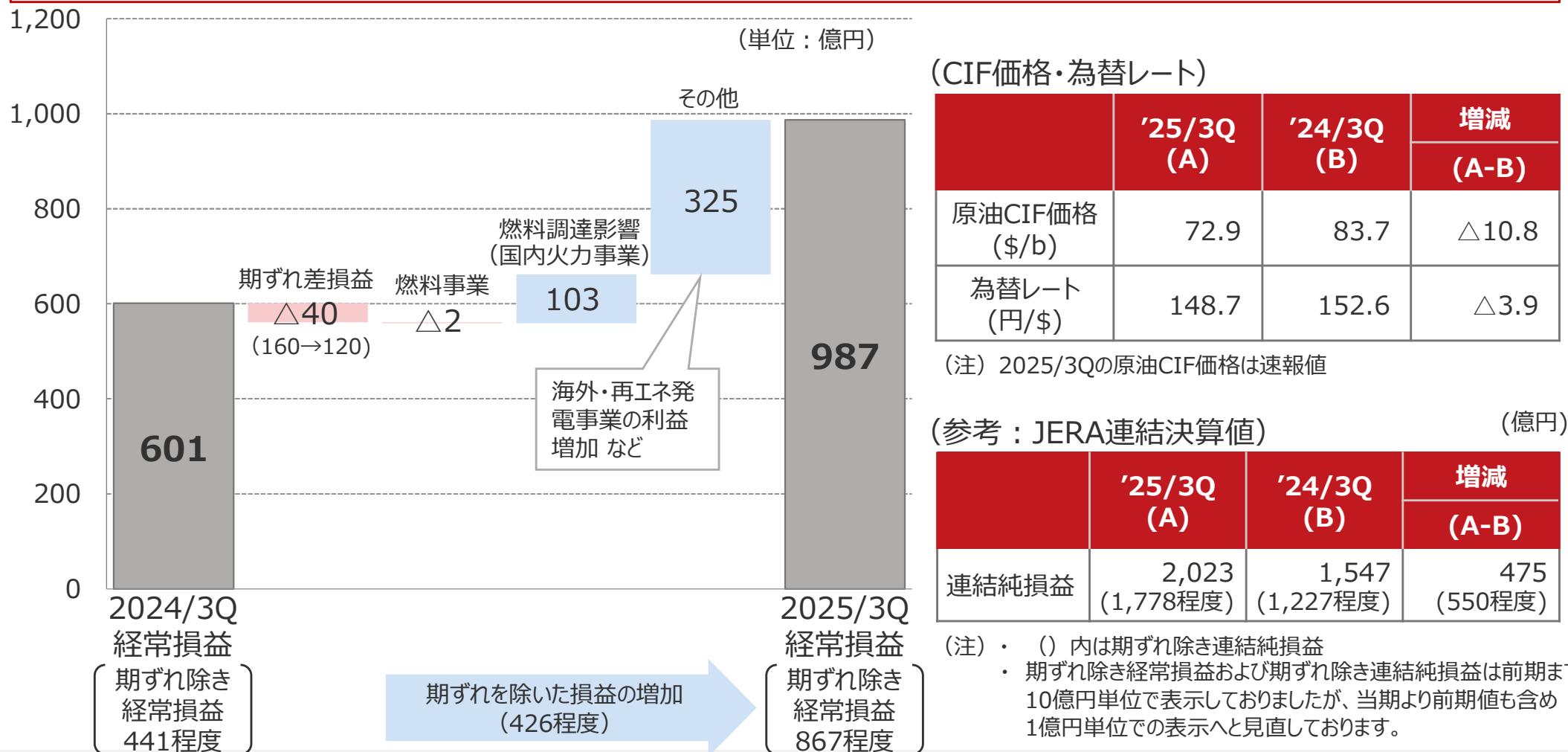
- 設備関係費の増加はあったものの、エリア需要の増加に伴う託送収益の増加や需給調整にかかる費用の減少などから、前年同期に比べ 95億円の増益



## 〈経常損益の変動要因〉

- 国内火力事業において燃料調達影響による利益増や海外・再エネ発電事業の利益増などにより、前年同期に比べ 386億円の増益

(参考) 期ずれを除いた経常損益：867億円程度 (前年同期に比べ 426億円程度の増益)

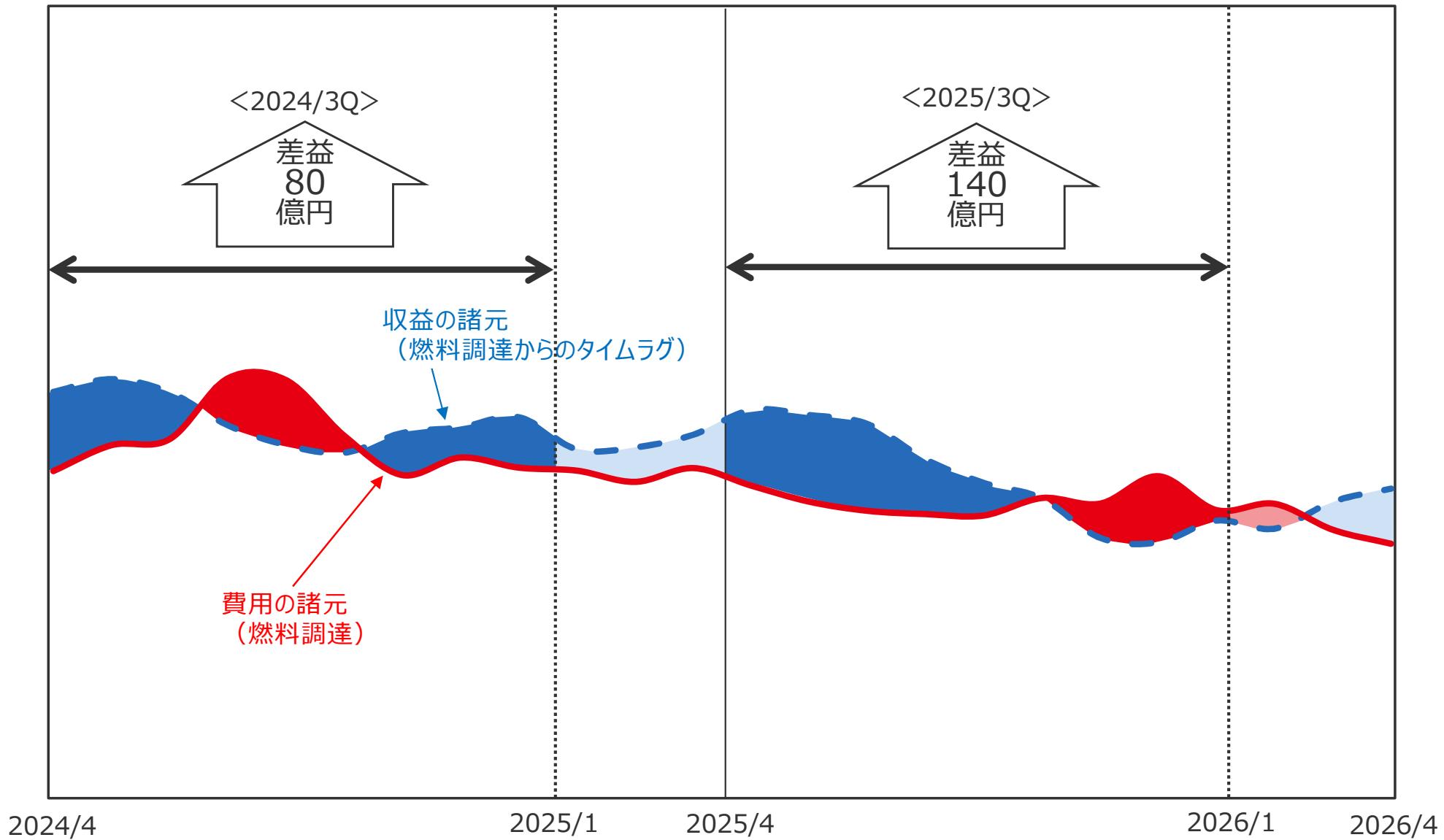


## 〈発電電力量〉(中部電力)

- 水力 出水率が前年同期を下回ったことなどから、5億kWh減少
- 新エネルギー 前年同期並み

	2025/3Q (A)	2024/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	75 (95.2)	79 (110.2)	△5 (△15.0)	△5.9
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
新エネルギー	3	3	0	2.6
合計	78	82	△5	△5.6

# (参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



(注) 金額はJERAおよびミライズにおいて発生した期ずれ差損益の合計を記載しております。

# 2025年度 業績見通しの概要①



## 〈業績見通し〉(連結) 2025年10月28日公表の業績予想値から変更なし

- 売上高 : 3兆5,500億円
- 経常損益 : 2,300億円

- ・ 売上高は、2023年度以来、2年ぶりの減収
- ・ 経常損益は、2024年度に続き、2年連続の減益
- ・ 2021年度以来、4年ぶりの減収減益

(億円, %)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	35,500	35,500	—	—
経常損益	2,300 (2,100程度)	2,300 (2,100程度)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損益	1,850	1,850	—	—

## [参考] 前期比較 (億円, %)

	今回公表 (A)	2024年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	35,500	36,692	△1,190程度	△3.2
経常損益	2,300 (2,100程度)	2,764 (2,640程度)	△460程度 (△540程度)	△16.8 (△20.5)
親会社株主に帰属する当期純損益	1,850	2,020	△170程度	△8.5

( ) 内は期ずれ除き経常損益

# 2025年度 業績見通しの概要②



## 【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

(億kWh, %)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,097	1,097	—	—
グループ合計の販売電力量	1,209	1,209	—	—

[参考] 前期比較

競争影響 +12程度、気温・景気等 +7程度

(億kWh, %)

	今回公表 (A)	2024年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,097	1,079	19	1.7
グループ合計の販売電力量	1,209	1,173	36	3.1

- (注) ・ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。  
 ・ 米国の関税政策による電力需要への影響は、2025年4～12月の中部エリアにおける産業用の電力需要が計画通りに推移していることから、現時点で大きな影響は生じていないものと考えております。今後、業績見通しに大幅な変化が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

(その他)	今回公表	10/28公表	<参考> 2024年度実績	(\$/b, 円/\$, %)	(感応度)	(億円)
					収支への影響額	
原油CIF価格	71程度	72程度	82	原油CIF価格	(+1\$/b)	△小
為替レート	150程度	146程度	153	為替レート	(+1円/\$)	△3程度
原子力利用率	—	—	—	金利	(+1%)	△8程度

(注) 感応度は、原油CIF価格および為替レート：JERAにおける期ずれへの影響額、金利：当社の支払利息への影響額をお示ししております。

## II 参考データ：決算・財務関連

---

# 連結収支比較表



(億円, %)

	2025/3Q (A)	2024/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益（売上高）	25,663	26,516	△852	△3.2
持分法による投資利益	948	521	426	81.6
その他収益	105	128	△23	△17.9
営業外収益	1,054	650	403	61.9
経常収益	26,717	27,167	△449	△1.7
営業費用	23,977	24,675	△697	△2.8
営業外費用	332	269	63	23.4
経常費用	24,310	24,944	△634	△2.5
(営業損益)	(1,685)	(1,841)	(△155)	(△8.4)
経常損益	2,407	2,222	184	8.3
渇水準備金引当又は取崩し（△）	△2	7	△10	—
法人税等	365	495	△130	△26.3
非支配株主に帰属する四半期純損益	18	47	△29	△61.1
親会社株主に帰属する四半期純損益	2,025	1,671	354	21.2

# 連結財政状態の概要

(億円)

	2025/12末 (A)	2025/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	74,994	71,248	3,746
負債	44,211	42,662	1,549
純資産	30,782	28,585	2,197

(億円)

	2025/12末 (A)	2025/3末 (B)	増減 (A-B)
自己資本比率(%)	40.1	39.1	1.0
有利子負債残高	32,617	30,778	※ 1,838

※有利子負債残高の増減の内訳は、次のとおりでございます。

- ・調達・返済による影響 1,728億円
- ・連結範囲の変更による影響 110億円

# 2025年度 セグメント別業績見通し



## 〈セグメント別業績見通し〉(経常損益)

2025年10月28日公表の業績予想値から修正なし

(億円, %)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	1,100 (1,050程度)	1,100 (1,050程度)	— (—)	— (—)
パワーグリッド	250	250	—	—
J E R A	950 (800程度)	950 (800程度)	— (—)	— (—)
その他・調整額	※1 0	0	—	—
(再掲) 不動産事業 ※2	200	200	—	—
合計	2,300 (2,100程度)	2,300 (2,100程度)	— (—)	— (—)

※1 浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における不適切事案を受け、審査に関する業務などの委託契約を解約することとし、実施済みの業務に対応した費用を計上したものの、グループ会社の収支向上や、その他委託契約等における支出額の減少などから、10/28公表と同程度を見込んでおります。

※2 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

( ) 内は期ずれ除き経常損益

# 財務関連指標



	2024年度実績	2025年度予想	2025年度 中期経営目標等
ROIC	3.8%	3.3%	3.2%以上
ROA	4.1%	3%程度	—
ミライズ	17.6%	14%程度	—
パワーグリッド	2.5%	2%程度	—
JERA	3.3%	5%程度	—
不動産事業 ※1	—	5%程度	—
ROE	7.0%	6%程度	7%程度
自己資本比率	39.1%	39%程度	※2 30%半ば～後半

※1 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

※2 2025年4月28日公表「中期経営計画達成に向けた取り組み」にてお示ししております。

(注1) ROIC = 利払前・税引後経常損益／期首期末平均投下資本（有利子負債残高 + 純資産）

ROA = 事業損益（経常損益 + 支払利息）／期首期末平均総資産

ROE = 当期純損益／期首期末平均自己資本

自己資本 = 純資産合計 - 非支配株主持分

(注2) 経常損益および当期純損益は、期ずれ除きの数値

## 本資料取扱上のご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があります。